

事業説明シート	1 短期大学教育設備等整備事業(継続)
---------	---------------------

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課
 総合計画 4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち
 2節 高等教育の充実
 1項 美術工芸短期大学の充実
重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 教育内容の充実・強化のため教育関連設備・備品等の整備を図る。 また、知的財産である図書の充実を図る。	【 事業の対象】 美術工芸短期大学
【 全体事業概要】 ・技術革新と情報化が進む社会に対応したコンピュータ関連機器の整備やソフトウェアのバージョンアップを計画的に対応することで、教育レベルの維持に心がける。 ・工芸関連機械・設備についても計画的に整備を図る。 ・附属図書館の蔵書を、美術・デザイン系の大学にふさわしい専門図書を中心に計画的に整備（平成24年までに4万冊）し、図書の充実を図る。	【 新年度事業概要】 ・教育用ソフトウェア新規購入及びアップグレード ・教育用機械・設備点検修理 ・教育用備品新規購入 ・附属図書館図書整備
【 備考】 平成14年度予定利率 0.01%（運用益 約201千円）	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート	1 短期大学教育設備等整備事業(継続)
---------	---------------------

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	志願倍率				
選定理由	魅力ある教育環境を維持することにより、安定した志願者数の確保を図ることができる。				
計算・推計方法	志願倍率の実績による				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		1.5倍	1.6倍	1.6倍	1.6倍
実績	1.41	1.46			

【 事業成果指標・備考】
 図書資料整備に関しては、目標冊数(4万冊)への到達度を指標とする。
 14年度：60% 15年度：65% 16年度：70% 17年度：75%

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】
☐ 無 ☒ 有 運営基金を取り崩す

【 民間事業との競合】
☒ 無 ☐ 有

【 住民ニーズ、行政需要の動向】
☒ 増加傾向 ☐ 不変 ☐ 減少傾向
 ソフトウェアの陳腐化や機械の老朽化が進み、情報化社会に対応できなくなる。
 学生、教員からの要望が多い。

【 市が今行う必要性】

○ 無 ● 有	ソフトウェアの陳腐化や機械の老朽化が進み、情報化社会に対応できなくなるため、計画的に整備を進めていく必要がある。 また、教育活動を支えるのに十分な内容と質を保持しなければならないため、計画的整備が必要とされる
---------	---

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

14美短 1

事業説明シート	2 秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備事業(新規)
---------	------------------------------------

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課
 総合計画 4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち
 2節 高等教育の充実
 1項 美術工芸短期大学の充実
重点テーマ 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 学生の修学意欲の向上を図る。 所蔵する貴重な作品の散逸を防ぐ。	【 事業の対象】 秋田公立美術工芸短期大学・秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院
【 全体事業概要】 平成14年度から秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備計画検討委員会を設置し、平成16年の短期大学開学10年時に両学共有の「作品展示室」をオープンさせる。	【 新年度事業概要】 秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備計画検討委員会において展示室の規模、運営形態、建設費等を決定する。
【 備考】 秋田公立美術工芸短期大学は平成7年4月11日に開学し平成16年に開学10年を迎える。また、秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院は前身の秋田市立工芸学校を含めると平成14年に創立50周年を迎えた。	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート	2 秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備事業(新規)
---------	------------------------------------

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標					
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【 事業成果指標・備考】

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】
○ 無 ○ 有

【 民間事業との競合】
○ 無 ○ 有

【 住民ニーズ、行政需要の動向】
○ 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向

【 市が今行う必要性】
○ 無 ○ 有

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】
○ 問題無 ○ 要配慮

事業説明シート	3 実習棟改修事業(継続)
---------	---------------

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課
 総合計画 4 章 可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち
 2 節 高等教育の充実
 1 項 美術工芸短期大学の充実
重点テーマ 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 実習棟 3 棟について、利用形態の変化に合わせるため改修を計画的に行う。 この改修により、いっそうの教育効果の向上を図るものである。	【 事業の対象】 秋田公立美術工芸短期大学
【 全体事業概要】 1. 建築工事(模様替え工事、天井・外部建具設置、内外断熱改修) 2. 機械設備工事 3. 電気設備工事 改修にあたり、将来、教育内容に変化があった場合でも柔軟に対応できる改修とするとともに旧食料倉庫が持つ広々とした空間、木材の素朴な味わい、建築物として構造の美しさなど、建物の持つ特性を活かすことや、採光、換気、温度などにも配慮する。 H14年度はA棟の改修 H15年度はB棟の改修 H16年度はC棟の改修	【 新年度事業概要】 B棟の1. 建築工事(模様替え工事、天井・外部建具設置、内外断熱改修) 2. 機械設備工事 3. 電気設備工事 改修にあたり、将来、教育内容に変化があった場合でも柔軟に対応できる改修とするとともに旧食料倉庫が持つ広々とした空間、木材の素朴な味わい、建築物として構造の美しさなど、建物の持つ特性を活かすことや、採光、換気、温度などにも配慮する。
【 備考】	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート	3 実習棟改修事業(継続)
---------	---------------

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	満足度				
選定理由	満足度がアンケート結果に反映される。満足度が高まれば教育効果も上がる。				
計算・推計方法	教員・学生に対しアンケートを実施し、室温、照度、塵埃、騒音に関する満足度を改修年度の棟順に5段階で調査する。改修終了年次以降は3棟合計で調査する。				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		5	5	5	5
実績					

【 事業成果指標・備考】

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】

● 無 ○ 有

【 民間事業との競合】

● 無 ○ 有

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向 実習棟の改修に対し、学生、教員からの要望が多い。

【 市が今行う必要性】

☐ 無 ☒ 有	学生の教育環境を改善し、教育効果の向上を図るため改修の必要がある。
--	-----------------------------------

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
☐ 問題無 ☒ 要配慮	ガラス炉・グローリーホールの大型実習機械の更新を検討している。この大型実習機械はC棟に設置されていることから、平成16年度のC棟改修時にこの更新を同時に実施することが、設置経費等のコスト軽減につながる。

14美短 3